

会社の陰謀を暴露す

會秋は、拳銃開始數回^後に渡つて多明書を發した。一昨日から
争議の因由に關する想像等、源序は、左とて某女答は言
及問を私共以付す。中傷と謗謑を以て貰かれてゐる。公然
私來ま。斯の底級なる宣傳^{報社して}一々應酬するには、馬鹿
鹿々々も一事でもあり。既に一度莫麗答を取したりで、今
は其女答は觸れず。裏に想つて、其奸策と會社の腹の
黒い祕を曝露し玉る。

静かに思ふ。宣傳じうの連登、其女答、及び暴力團の增
員舉は、夫は、單に某宣傳によつて私共にに対する世人の同
情を失はしめ人とする努力ではなくて、實に夫によつて
私共を激昂させ、或は焦慮させを暴力團と鬪はしめ、そし
て其間渾水の利を占め人とする卑劣極まる奸策である事は
三文の童兒と最も洞察し得る處である。あへて何と恐ろし
い陰謀をば在いか！ 會社は幾度か繰りかへて暴力團を